

木質系外壁面の塗替え仕様

G t - 1 木材保護着色塗料 2～3回塗り

① 下地調整

旧塗膜における劣化条件により下の表による調整の工程を行なう。

| 工 程 | 必要性 | 材 料 | 面の処理 | 放置時間 |
|------------|-----|-----------|----------------------------|---------|
| ①汚れ・付着物の除去 | ○ | 塗料シンナー | 汚れ・付着物の除去、油類は溶剤拭き。 | |
| ②かび・藻の除去 | ○ | 漂白剤 | かび・藻等を漂白して除去 | |
| ③水洗 | ○ | 高压水 | 汚れ・漂白剤等を除去 | 24 時間以上 |
| ④下地研磨 | (○) | 研磨紙 # 120 | 凹凸・逆目・けば等を木目に沿って研磨して平滑にする。 | |

注) ○印は必ず行なう。(○) 印は必要な場合に行なう。

② 塗装工程

木材保護着色塗料塗りの工程は下の表による。

| 工 程 | 塗装種別 | | | 塗料その他 | 希釈割合 (重量比) | 塗付量 (k g /m ²) | 放置時間 (時間) |
|------|------|----|----|--------------------|---------------|-------------------------------|--------------|
| | A種 | B種 | C種 | | | | |
| 下地調整 | ○ | ○ | ○ | 上の表下地調整の工程による。 | | | 3 以上 |
| 下塗り | ○ | ○ | ○ | 下塗り用塗料又は 上塗り用塗料 | 原液 | 0.1 以上 | 6 以上 |
| 中塗り | ○ | ○ | — | 上塗り用塗料 | 原液 | 0.1 以上 | 6 以上 |
| 上塗り | ○ | ○ | ○ | 上塗り用塗料 | 原液 | 0.08 以上 | 6 以上 |
| 上塗り | ○ | — | — | 上塗り用塗料 | 原液 | 0.08 以上 | 6 以上 |

③ 工法

- i 塗料は原液で用いる。
- ii 塗装前に塗料は十分攪拌し、均一にする。
- iii 調色は製造メーカーの仕様書による。色を薄めるために希釈材を用いてはならない。
- iv 下塗り、中塗り、上塗りは、はけ塗り、またはローラー塗りとする。
- v 中塗り、上塗りは、前工程の塗面が十分乾燥していることを確認してから行なう。
- vi 塗装作業は、ゴム手袋、保護メガネ及びマスクをつける。

④ 注意事項

- i 塗装場所の気温が 5℃以下、湿度が 85%以上または換気が不十分で結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- ii 外部の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合および強風時は塗装を避ける。
- iii 塗装時ならびに塗料の取り扱い時は、十分に換気を行い火気厳禁にする。
- iv 製品の安全に関する詳細な内容が必要な時には、製品安全データシート (MSDS) を参照する。